

子育て世帯に食品支援

ホーム戦で募集 各務原市の団体に贈る

FC岐阜がフードドライブ活動

サッカーJ3のFC岐阜の選手が、子育て世帯などに食料を無料配布している「ぴんぽん食堂」都わすれ(各務原市那加市下町)を訪れ、ホーム戦で集まった食品を届けた。家庭で消費し切れない食品を必要とする人に届けるフードドライブ活動の一環。(棚橋滉斗)

FC岐阜と、オフィシャルパートナーのパローホルディングスが昨年5月に始まった取り組み。長良川競技場(岐阜市長良福光)で行われるホーム戦で特設ブ



ホーム戦で集まった食品を届けたFC岐阜の栗飯原尚平選手(左端)と後藤大輝選手(右から2人目) 各務原市那加市下町「ぴんぽん食堂」都わすれ

ースを設置し、来場者から食品を募っている。

FC岐阜からはGK後藤大輝選手と、各務原市のホームタウン応援大使を務めるFW栗飯原尚平選手が参加。7月13日と28日の2試合で集まった食料103品と、パローホルディングスから贈られたバスタ100人分を届けた。

栗飯原選手は「できるだけさまざまな物を食べた方がパワーが出る」、後藤選手は「僕も小さい頃にたくさん食べて、この体を作った。子どもたちにはたくさん食べてほしい」とエールを送った。ぴんぽん食堂代表の前田洋子さん(71)は「子どもたちにとっていつもと違った楽しみがある。FC岐阜も応援したい」と感謝した。